

# 令和4年度 札幌市あかしあ学園事業報告書（案）

## 第1 基本方針

札幌市の指定管理者として3期目の5年目である令和4年度においては、札幌市障がい者保健福祉計画の計画目標の一つとして挙げられている「地域生活を支えるためのサービス提供基盤の一層の充実」に向け、あかしあ学園の設置目的である「社会生活・職場生活などそれぞれの生活の場で社会的に自立出来るように援助すること」を念頭に置き、利用者のそれぞれの能力や適正に合わせ、日常生活と社会生活能力、働く意欲と技術の向上を目指した支援に取り組みました。

## 第2 重点事項

### 1 利用者の虐待防止と人権尊重

利用者の虐待防止と権利擁護に際し、昨年度に実施した、あかしあ学園独自のペーパーテスト「虐待や不適切な支援をなくすために」の結果をもとに、以下の具体的方策をもって取り組みました。

利用者の権利擁護や虐待防止について、令和4年7月28日に「権利擁護セミナー」の外部研修に参加し、「権利擁護セミナー」の伝達講習会として、令和4年10月13日に内部研修を実施する事で職員の意識向上に向けた取り組みを行いました。また、法人による倫理研修は、令和5年3月28日に内部研修として実施しました。

毎月職員会議で職員倫理綱領の読み合わせを行い人権尊重の意識醸成に努めるとともに毎夕の引き継ぎ時、あかしあ学園で取り組みを行っている「虐待予防の重点目標」（合言葉！！『誉める』『認める』『励まし』でやる気スイッチを押しましょう！）、「平等利用確保の取り組みチェック」（ア利用者さんを「さん」付けで呼ぶ。イ利用者さんの良い所を見つける。）を職員全員で確認しています。

なお、全職員を対象に「困った、どうしよう、あれで良いの？これは身体拘束？」アンケートを令和4年11月28日から令和4年12月8日まで実施し、「虐待や不適切な支援をなくすために」ペーパーテストを令和5年2月13日から令和5年2月15日の期間で実施しました。

これらの結果を元に、令和5年2月末から3月中旬にかけて、管理者が面談を通じて職員自らの言動や特性についてスーパービジョンを行い、適切な支援の構築に努めました。

### 2 障がい福祉サービス事業の充実

あかしあ学園が多機能型として運営を行っている生活介護、就労継続支援B型の両事業それぞれの利用者に対して家庭状況、障がい状況やニーズの把握を行った上で、個別面談等のアセスメントを実施し、支援計画を作成しました。また、定期的にモニタリングを行い、利用者本位で利用者一人ひとりの計画、目標に合わせて自己実現が達成出来るように日々の支援を実践しました。

また、札幌市あかしあ学園業務仕様書に沿って、透明性の高い管理運営を行うため、利用者やその家族、札幌市への情報提供等連携を密に図りました。例年行っている「北光サロン」

や「作業ボランティア」等の地域・家族ボランティアの受け入れに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響から、受け入れは自粛しました。

### 3 作業活動の安定化と工賃の向上

今年度においても就労継続B型事業利用者の工賃向上、生活介護利用者の安定した作業活動を提供するため積極的に作業を受託しました。

受託作業では、仕事の受注状況や委託料を精査し、取引先の検討を行いました。紙器加工については、安定的に作業が確保されるように、定期的な作業供給が望める業者の確保に努め、その他、封入やラベル貼り等の作業種についても積極的に取り組みました。

施設外就労として、ポスティングや広報誌の配布、公園清掃、施設清掃、食器洗浄等の作業を受託しました。

工芸作業では、新製品の開発や委託販売の取り扱い製品の見直し、パチンコ店の替え玉景品の登録、企業の授産製品を活用したイベントへの登録等、販売ルート開拓に向け、積極的に取り組みました。

### 4 日中活動の充実

作業活動を中心に取り組みましたが、その他のニーズにも応えられるように、健康維持活動、余暇活動等も提供しました。

就労B型事業の利用者は施設外就労を中心に様々な作業種にチャレンジし、生活介護事業の利用者は生産活動の他、創作活動や農園活動、スポレク活動を実施しました。

創作活動では知的障がい福祉協会の「あらかるあーと展」や「みんなあーと展」、北海道アールブリュットネットワーク協議会の「北海道障害者のアート展」への出品を行いました。

農園活動は10月に収穫祭を開催し、畑で取れたじゃがいもで「マッシュポテト」を職員が調理し、昼食時に提供し食べました。

軽運動活動については、新型コロナウイルス感染症の感染対策の為、外部公共施設の利用制限もあり、活動を自粛しましたが、スポレク活動では、ペタンクや輪投げ等のレク活動をゲーム形式で実施しました。

また、両事業共通で、社会参加活動として、「サッポロさとらんど」の公園散策と選択外食を実施しました。

フラダンス活動における外部講師の受け入れに関しては、新型コロナウイルス感染症の感染対策の為に自粛し、DVDを上映しながら自主練習を行いました。11月12日に東区区民センターで開催された「東区ふくしまルシェ」に参加し、普段の練習の成果を発表しました。

### 5 さっぽろ地域生活支援センター等との連携

あかしあ学園の利用者でさっぽろ地域生活支援センター（以下「センター」という。）が運営するグループホーム利用者については、生活や健康の様子を日頃から連携して状況把握に努め、安心して活動に参加できるように努めました。

共同生活援助の他にも居宅介護、相談支援、短期入所等のサービス利用の希望があった際はセンターと連絡を取りスムーズなサービス利用が出来るように配慮しました。

本年もサービス等利用計画作成等のニーズが多くあり、計画作成、モニタリング等、連携して対応しました。

なお、さっぽろ地域生活支援センター以外の共同生活援助、相談支援等、各種サービス提



供事業所とも連携を図りつつ、利用者支援の充実に努めました。

## 6 利用定員の安定化

令和4年6月に就労継続支援B型事業の利用者1名が、生活介護事業へサービス変更し、令和5年3月から生活介護事業に1名が新規利用開始しました。また、令和5年4月1日に生活介護事業の利用者1名が、就労継続支援B型事業へサービス変更する事になりました。

令和5年4月1日現在、生活介護（35名）、就労継続支援B型（20名）、合計55名の契約数となっています。活動場所については、施設外就労へ毎回10名程度が参加しているため、作業スペースは確保されています。

なお、稼働率に関しては、コロナ禍の影響を受け、生活介護87.7%（前年度85.1%）、就労Bが85.0%（同93.5%）、全体で84.1%（同83.8%）と、前年度よりも全体で0.3%程上昇しています。

## 7 親睦会活動への支援

新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意し、日帰り旅行は自粛しましたが、7月7日に夏祭りを開催しました。夏のお盆行事や新年会、納会やあかしあ喫茶については、感染対策に留意し、規模を縮小して実施しました。

各種行事の企画、運営については利用者主体で取り組めるように支援しました。また、本、アルバムの整理、施設内の環境整備等の活動のサポート、定例の会議や役員選挙活動等、円滑且つ適正に遂行できるように補助的役割や相談、助言等の支援に努めました。

## 8 職員研修体制の充実

内部研修として、令和5年1月に登用された職員を対象に新人職員研修プログラム（キャリアデザイン形成支援）を3カ月間実施しました。また、全職員を対象に虐待防止・権利擁護研修を実施して人権尊重や適切な支援への理解を深めました。さらにスキルアップに向けて法人の階層別研修や、知的障がい福祉協会、北海道社会福祉協議会主催の外部研修会、行動援護従事者研修等へ、ZOOM やオンデマンド配信を活用した研修に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めました。

### <施設外部研修>

対象職種	件数	延べ参加人数
管理者	2	2
サビ管	1	1
支援員	22	39
事務員	1	1
合計	26	43

<施設内部研修>

研 修 名	件数	参加人数
○ 虐待防止研修	1	17
施設見学	0	0
福山医師による研修	1	17
伝達講習会（権利擁護セミナー）	1	18
キャリアデザイン形成支援	1	1
リーダー研修	1	7
階層別研修 II（一般職員）	1	1
階層別研修 II（リーダー職員）	1	1
階層別研修 II（課長職）	1	1
合 計	8	63

第3 利用者の状況

1 事業別男女構成

令和5年3月31日現在（単位：人）

事業	定員	男性	女性	合計
生活介護事業	30	22	13	35
就労継続支援B型	20	12	8	20
合計	50	34	21	55

2 年代別構成

令和5年3月31日現在（単位：人）

年齢	18～	20～	30～	40～	50～	60～	合計
生活介護	1	3	6	10	12	3	35
就労B	0	4	10	0	3	3	20
合計	1	7	16	10	15	6	55

3 障害支援区分別構成

令和5年3月31日現在（単位：人）

障がい支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
生介護	0	0	4	15	9	7	35
就労B	0	2	6	8	2	0	18
合計	0	2	10	23	11	7	53

（区分判定未実施～男性1名女性1名）

4 在籍数及び平均利用数

令和5年3月31日現在 (単位：人)

月	生活介護		就労継続支援B型		合計	
	在籍数	平均利用	在籍数	平均利用	在籍数	平均利用
4	34	27.4	20	18.8	54	46.2
5	34	25.9	20	17.5	54	43.4
6	35	27.5	19	17.2	54	44.7
7	35	28.2	19	17.9	54	46.0
8	35	22.1	19	15.3	54	37.5
9	35	26.5	19	17.3	54	43.8
10	35	26.3	19	16.8	54	43.1
11	35	22.9	19	17.0	54	39.8
12	35	22.8	19	16.9	54	39.7
1	35	22.4	19	15.5	54	37.8
2	35	24.4	19	16.4	54	40.8
3	36	24.3	19	17.5	55	45.4
平均	34.9	25.1	19.2	17.0	54.1	42.4

5 職員配置の状況

(1) 組織体制



(2) 職員配置

令和5年3月31日現在(単位：人)

職名	正職	准職	パート	合計
学園長	1			1
副学園長	1			1
主査(支援)	1			1
主事(事務)	1			1
支援員	6	7		13
看護師		1		1
事務員			0.6	0.6
合計	10	8	0.6	18.6



## 第4 運営方針

### 1 管理運営

#### (1) 防災・事故防止

建物を共有するみかほ整肢園と合同で火災を想定した避難訓練を年2回、あかしあ学園単独による火災、地震を想定した避難訓練を年2回、合計4回実施しました。訓練を実施することにより、利用者、職員へ災害等の非常時への対応や防火・防災についての意識の啓発に努めました。

また、利用者支援に関わるリスクマネジメントの取り組みとして、様々な案件でヒヤリハット事例を収集し分析、検証を行い事故の未然防止に努めました。

#### <実施内容>

実施月	訓練内容
6月	総合避難訓練（みかほ整肢園と合同）
8月	地震・火災避難訓練～地震により3階給湯室より出火想定
10月	総合避難訓練（みかほ整肢園と合同）
3月	地震・火災避難訓練～地震により3階給湯室より出火想定

#### (2) 適正な事務執行と省エネ対策の実施

事務費や事業費等については、利用者支援や管理運営上の必要性を吟味し、節約を意識しながら適切な執行ができるよう、打ち合わせ等の場面で職員周知を図り、適正な事務執行に努めました。

また、札幌市の条例に基づき、節水、節電、ゴミの減量に努め、室内温度の一定化（夏期28度設定）や職員各個人のゴミの持ち帰り等を推進しました。

#### (3) 給食サービスの充実

給食業務は引き続き麦の子会と業務委託契約を結び、麦の子会の栄養士と連携しつつ、利用者の状況や家族のニーズ等に応じて、食事内容や食事形態、食器等を配慮した給食を提供し、利用者嗜好調査も実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症の感染対策の為、食堂の入室時は手指消毒を行い、食席は間隔を空けて座るようにし、対面席にはパーテーションで仕切る等の密にならない食事環境に配慮しました。

#### (4) 実習生の受け入れ

将来的に当事業所の利用を希望する学生を中心として、札幌市内や近隣の高等支援学校から施設見学や現場実習の受け入れを行いました。

また、保育や福祉を学ぶ短期大学や専門学校等の単位実習や社会福祉士取得のためのソーシャルワーク基礎実習の受け入れを行いました。

<実習生受入実績>

学生実習	人数
札幌大谷短期大学	2名
光塩学園女子短期大学	2名
吉田学園北海道福祉大学校	2名
せいとく介護こども福祉専門学校	2名
星槎道都大学	1名
北海道医療大学	1名

支援学校職場実習	人数
北海道高等聾学校	1名

(5) ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス感染症の影響から、地域交流を伴う各種行事は関係者のみで実施する事とした為、ボランティアの受け入れについては自粛し、実績はありませんでした。

(6) 満足度調査

事業所におけるセルフモニタリングの一環として、利用者満足度調査を実施しました。調査は全利用者及び家族を対象として、総合評価と職員の接遇、健康管理の各5項目を5段階評価として調査を実施しています。評価結果は各家族に配布、札幌市、運営協議会委員、法人事務局に提出しています。令和4年度の回収率は85.1%で、「満足」、「やや満足」を足した総合的な満足度は93.5%、接遇面についての満足度も95.7%と高い評価を頂いています。

(7) 苦情解決

利用者及び家族からの苦情や要望等に対応するため、施設内に相談箱の設置を行いました。また、苦情解決責任者及び苦情受け付け担当者を配置して、外部者、利用者とその家族から第三者委員を任命し、苦情等が発生した場合の解決に向けた体制整備を行いました。

なお、令和4年度の苦情等の申し立てはありません。

## 2 利用者支援

(1) 個別支援計画の作成について

利用者の障がい状況や家庭状況、要望等を的確にとらえるため、個別面談等を実施した中でアセスメントを行いました。また、サービス等利用計画とリンクして、エンパワーメントの視点に立ち利用者の持つストレングスを活かせるよう個別支援計画の作成に努めました。実際の支援においても、個別支援計画に沿って利用者それぞれの目標が達成できるよう、個性や主体性を尊重して、自立能力の向上に向けた支援に努めました。

(2) 作業活動



就労継続B型事業利用者の工賃向上、生活介護利用者の安定した作業活動を提供するため積極的に作業を受託しました。

受託作業では、仕事の受注状況や委託料を精査し、取引先の検討を行いました。紙器加工については、安定的に作業が確保されるように、定期的な作業供給が望める業者の確保に努め、その他、封入やラベル貼り等の作業種についても積極的に取り組みました。

施設外就労として、ポステイングや広報誌の配布、公園清掃、施設清掃、食器洗浄等の作業を受託しました。

工芸作業では、新製品の開発や委託販売の取り扱い製品の見直し、パチンコ店の替え玉景品の登録、企業の授産製品を活用したイベントへの登録等、販売ルート開拓に向け、積極的に取り組みました。

リサイクル作業ではご家族からも空き缶回収のご協力を頂き、空き缶の仕分けと買い取り業者へのリサイクルを行い、売り上げを収益としました。

<売上げ及び工賃支給額>

(単位：円)

	令和4年度	令和3年度
工芸作業	1, 333, 379	901, 654
受託作業	1, 536, 183	1, 696, 987
施設外就労	2, 442, 054	2, 399, 249
リサイクル作業	10, 921	13, 670
合計	5, 322, 537	5, 011, 560
支給工賃額	4, 439, 962	3, 991, 783

(3) 日中活動

日中活動では、新型コロナウイルス感染症の感染対策に留意しつつ、満足度調査等の意見も反映できるよう活動内容を工夫し、利用者の希望に沿って各種活動や行事が実施できるよう努めました。

ア 農園活動～生活介護の利用者を対象にして、事業所敷地内にじゃがいも・ミニトマト・ナス・ズッキーニ・バジル・つるありいんげん・トウガラシ・だいこん等を植えています。畑起こしから、苗や植ええ、草むしり、石拾い、水まきを行っています。

活動のまとめとして収穫祭を実施し、収穫した野菜をマッシュポテトにして利用者皆さんで食べて楽しみました。

イ 創作活動～生活介護の利用者対象に、週1回の定例で実施し、季節を感じられるように時期に合わせた作品作りを心掛ました。また、札幌市知的障がい福祉協会の「あらかるあーと展」や北海道知的障がい福祉協会の「みんなあーと展」では、主に班グループでの創作作品を出展し、北海道アールブリュットネットワーク協議会の「北海道障害者のアート展」は個人の作品を出展しました。

また、(株)合田商事と協働し、パチンコひまわりファイターズ通り店に



「アールブリュットギャラリー」を設置し、個人の作品を中心に常設展示しました。

- ウ 外出活動～新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いつつ、「サッポロさとらんど」や「百合が原公園」の散策とレストランでの外食を計9回、各アート展への見学を計8回企画し、楽しむことができました。
- エ 軽運動活動～新型コロナウイルス感染症の感染予防の為、区の体育館等への外出を伴う活動は自粛しましたが、隔週木曜日に学園内の食堂にて、「ペタンク」「輪投げ」等のスポレクをゲーム形式で実施しました。
- オ フラダンス活動～新型コロナウイルス感染症の感染予防の為、外部講師の受け入れは自粛し、DVDを上映しながら自主練習を行いました。  
11月12日には東区区民センターで開催された「東区ふくしまルシェ」に参加し、普段の練習の成果を発表しました。
- カ レク活動～お盆期間には園内でアイスを食べながらDVD鑑賞やカラオケ等の余暇活動を行いました。また、新型コロナウイルス感染症の感染予防の為、豆まき活動は自粛し、飾り付けやお菓子を配布する事で、季節を楽しみました。
- キ 交流活動～ふれあいサロンについては、新型コロナウイルス感染症の感染予防の為、活動は自粛しました。また、あかしあ喫茶については、関係者のみの参加とし、活動内容を縮小しつつ実施しました。
- ク 親睦会活動～新型コロナウイルス感染症の感染予防の為、日帰り旅行は自粛し、新年会と納会、夏祭りについては、感染対策に充分留意した上で、規模を縮小しつつ実施しました。  
また、定例の会議や役員選挙活動等、適正に遂行できるように補助的役割や相談、助言等の支援を行いました。

#### (4) 家族との連携について

利用者の状況や家族の要望等の確認の為に、希望に応じて4月～6月にかけて個別面談を実施しました。

また、3月29日には家族説明会を実施し、満足度調査の結果報告並びに次年度に向けての事業計画、今後の感染対策等について意見交換を行いました。

#### (5) 送迎サービス

公共交通機関の利用が困難な方や歩行に不安がある方、さらに家族の高齢化等の理由により送迎が難しく、単独では通園が困難な方に送迎サービスを提供しました。

今年度の送迎サービスは4便体制で運航しました。

<送迎サービスの実績>

(単位：人)

月	運行日数	延送迎回数	1日平均 延べ利用者数
4	20	944	47.2
5	19	817	43.0
6	22	986	44.8
7	20	915	45.8
8	22	872	39.6
9	20	920	46.0
10	20	900	45.0
11	20	855	42.8
12	20	827	41.4
1	19	811	42.7
2	19	827	43.5
3	22	1074	48.8
平均	20.3	895.7	44.2

※迎え、送りをそれぞれ1カウントとしています。



## 拠点区分資金収支計算書

(自令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	3,830,000	3,927,205	△97,205	
	就労支援事業収入	3,830,000	3,927,205	△97,205	
	工芸事業収入	3,830,000	0	3,830,000	
	受託事業収入	0	2,112,640	△2,112,640	
	施設外就労事業収入	0	1,803,634	△1,803,634	
	その他の事業収入	0	10,931	△10,931	
	障がい福祉サービス等事業収入	92,915,000	94,441,209	△1,526,209	
	自立支援給付費収入	87,013,000	88,440,292	△1,427,292	
	介護給付費収入	87,013,000	59,404,135	27,608,865	
	訓練等給付費収入	0	29,036,157	△29,036,157	
	特定費用収入	3,689,000	3,749,004	△60,004	
	その他の事業収入	873,000	863,035	9,965	
	補助金事業収入	873,000	863,035	9,965	
	(保険等査定減)	0	△6,454	6,454	
	生産活動事業収入	1,340,000	1,395,332	△55,332	
	印刷事業収入	1,340,000	0	1,340,000	
	受託加工事業収入	0	61,953	△61,953	
	工芸事業収入	0	1,332,162	△1,332,162	
	その他の事業収入	0	1,217	△1,217	
	受取利息配当金収入	1,000	180	820	
	その他の収入	2,680,000	2,676,431	3,569	
	受入研修費収入	182,000	182,000	0	
	利用者等外給食費収入	307,000	284,760	22,240	
	雑収入	2,191,000	2,209,671	△18,671	
	事業活動収入計(1)	99,426,000	101,045,025	△1,619,025	
支	支出				
	人件費支出	76,840,000	76,049,846	790,154	
	職員給料支出	48,738,000	48,231,822	506,178	
	職員基本給支出	24,792,000	24,791,600	400	
	職員諸手当支出	4,118,000	4,185,709	△67,709	
	臨時職員給料支出	19,828,000	19,254,513	573,487	
	職員賞与支出	7,894,000	7,880,065	13,935	
	正職員賞与支出	7,094,000	7,163,751	△69,751	
	常勤嘱託職員賞与支出	800,000	716,314	83,686	
	非常勤職員給与支出	120,000	120,000	0	
	非常勤職員給与支出	120,000	120,000	0	
	退職給付支出	10,546,000	10,544,800	1,200	
	退職給付支出	10,546,000	10,544,800	1,200	
	法定福利費支出	9,542,000	9,273,159	268,841	
	法定福利費支出	9,542,000	9,273,159	268,841	
	事業費支出	15,715,000	14,923,545	791,455	
	給食費支出	3,689,000	3,749,004	△60,004	
	給食費	3,689,000	3,749,004	△60,004	
	保健衛生費支出	812,000	792,147	19,853	
	保健衛生費	812,000	792,147	19,853	
	教養娯楽費支出	133,000	103,870	29,130	
	教養娯楽費支出	133,000	103,870	29,130	
	日用品費支出	300,000	213,453	86,547	
	日用品費	300,000	213,453	86,547	
	水道光熱費支出	4,705,000	4,189,473	515,527	
電気代支出	4,705,000	3,672,518	1,032,482		
水道代支出	0	330,341	△330,341		
ガス代支出	0	186,614	△186,614		
消耗器具備品費支出	200,000	127,239	72,761		
消耗品費支出	200,000	46,671	153,329		
器具備品費支出	0	80,568	△80,568		
保険料支出	375,000	373,750	1,250		
賃借料支出	3,125,000	3,086,269	38,731		
車輛費支出	1,037,000	893,010	143,990		
車輛燃料費支出	1,037,000	893,010	143,990		
生産活動事業支出	1,339,000	1,395,330	△56,330		
利用者工賃支出	0	860,580	△860,580		

## 拠点区分資金収支計算書

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

(単位:円) 2頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	原材料費支出	1,339,000	312,021	1,026,979	
	消耗器具備品費支出	0	11,019	△11,019	
	修繕費支出	0	18,040	△18,040	
	通信運搬費支出	0	520	△520	
	手数料支出	0	125,150	△125,150	
	租税公課支出	0	68,000	△68,000	
	事務費支出	12,390,000	12,029,261	360,739	
	福利厚生費支出	249,000	233,453	15,547	
	健康診断費支出	249,000	125,053	123,947	
	民間共済会掛金支出	0	32,220	△32,220	
	その他福利厚生費支出	0	76,180	△76,180	
	旅費交通費支出	26,000	9,740	16,260	
	会議等旅費支出	26,000	9,740	16,260	
	研修研究費支出	176,000	158,838	17,162	
	研修旅費支出	176,000	6,280	169,720	
	研修負担金等支出	0	152,558	△152,558	
	事務消耗品費支出	131,000	94,231	36,769	
	事務消耗品費支出	131,000	94,231	36,769	
	印刷製本費支出	265,000	273,434	△8,434	
	印刷製本費	265,000	273,434	△8,434	
	修繕費支出	400,000	349,140	50,860	
	通信運搬費支出	325,000	313,766	11,234	
	会議費支出	6,000	3,806	2,194	
	会議費	6,000	3,806	2,194	
	広報費支出	40,000	0	40,000	
	広報費	40,000	0	40,000	
	業務委託費支出	8,264,000	8,203,992	60,008	
	業務委託費	8,264,000	8,203,992	60,008	
	手数料支出	360,000	322,409	37,591	
	手数料	360,000	322,409	37,591	
	土地・建物賃借料支出	1,200,000	1,200,000	0	
	租税公課支出	52,000	30,100	21,900	
	保守料支出	684,000	659,670	24,330	
	渉外費支出	60,000	34,832	25,168	
	渉外費	60,000	34,832	25,168	
	諸会費支出	152,000	141,850	10,150	
	就労支援事業支出	3,830,000	3,927,205	△97,205	
	就労支援事業販売原価支出	3,830,000	3,927,205	△97,205	
	就労支援事業支出	3,830,000	3,927,205	△97,205	
	その他の支出	149,000	135,347	13,653	
	利用者等外給食費支出	147,000	135,261	11,739	
	雑支出	2,000	86	1,914	
	事業活動支出計(2)	108,924,000	107,065,204	1,858,796	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△9,498,000	△6,020,179	△3,477,821	
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
施設整備等による収支	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等による収支	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動	積立資産取崩収入	4,334,000	4,333,320	680	
その他の活動	退職給付引当資産取崩収入	4,334,000	4,333,320	680	
その他の活動	拠点区分間長期借入金収入	13,575,000	12,619,492	955,508	
その他の活動	その他の活動による収入	4,000	2,600	1,400	
その他の活動	その他の活動による収入	4,000	2,600	1,400	
その他の活動	その他の活動収入計(7)	17,913,000	16,955,412	957,588	



## 拠点区分資金収支計算書

( 自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日 )

(単位：円) 3頁

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
に よ る 収 支	積立資産支出	807,000	805,052	1,948	
	退職給付引当資産支出	806,000	805,050	950	
	生産活動等工賃変動積立資産支出	1,000	2	998	
	拠点区分間長期借入金返済支出	2,521,000	2,776,495	△255,495	
	拠点区分間繰入金支出	5,087,000	7,353,686	△2,266,686	
	その他の活動支出計(8)	8,415,000	10,935,233	△2,520,233	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	9,498,000	6,020,179	3,477,821	
	予備費支出(10)	0	0	0	
		0	0	0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	





## 拠点区分事業活動計算書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：円) 1頁

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
サービス活動増減の部	収 就労支援事業収益	3,927,205	3,375,003	552,202	
	益 就労支援事業収益	3,927,205	3,375,003	552,202	
	受託事業収益	2,112,640	1,539,816	572,824	
	施設外就労事業収益	1,803,634	1,821,509	△17,875	
	その他の事業収益	10,931	13,678	△2,747	
	障がい福祉サービス等事業収益	94,441,209	95,866,693	△1,425,484	
	自立支援給付費収益	88,440,292	89,882,592	△1,442,300	
	介護給付費収益	59,404,135	58,284,356	1,119,779	
	訓練等給付費収益	29,036,157	31,598,236	△2,562,079	
	特定費用収益	3,749,004	3,873,093	△124,089	
	その他の事業収益	863,035	474,976	388,059	
	補助金事業収益	863,035	474,976	388,059	
	(保険等査定減)	△6,454	△529	△5,925	
	生産活動事業収益	1,395,332	1,636,561	△241,229	
	受託加工事業収益	61,953	734,906	△672,953	
	工芸事業収益	1,332,162	901,133	431,029	
	その他の事業収益	1,217	522	695	
	その他の収益	2,022,800	125,425	1,897,375	
		サービス活動収益計(1)	100,391,214	99,367,121	1,024,093
	費用	費 人件費	72,656,076	64,896,005	7,760,071
職員給料		48,231,822	44,414,162	3,817,660	
職員基本給		24,791,600	24,287,700	503,900	
職員諸手当		4,185,709	3,713,568	472,141	
臨時職員給料		19,254,513	16,412,894	2,841,619	
職員賞与		5,953,665	6,990,160	△1,036,495	
正職員賞与		5,237,351	6,028,694	△791,343	
常勤嘱託職員賞与		716,314	961,466	△245,152	
賞与引当金繰入		2,398,900	2,264,400	134,500	
非常勤職員給与		120,000	120,000	0	
非常勤職員給与		120,000	120,000	0	
退職給付費用		7,016,530	2,402,730	4,613,800	
退職給付費用		7,016,530	2,402,730	4,613,800	
法定福利費		8,935,159	8,704,553	230,606	
法定福利費		8,935,159	8,704,553	230,606	
事業費		14,923,545	13,182,643	1,740,902	
給食費		3,749,004	3,873,093	△124,089	
給食費		3,749,004	3,873,093	△124,089	
保健衛生費		792,147	485,211	306,936	
保健衛生費		792,147	485,211	306,936	
教養娯楽費		103,870	100,120	3,750	
教養娯楽費		103,870	100,120	3,750	
日用品費		213,453	255,520	△42,067	
日用品費		213,453	255,520	△42,067	
水道光熱費		4,189,473	2,401,726	1,787,747	
電気代		3,672,518	1,919,551	1,752,967	
水道代		330,341	333,758	△3,417	
ガス代	186,614	148,417	38,197		
消耗器具備品費	127,239	55,232	72,007		
消耗品費	46,671	55,232	△8,561		
器具備品費	80,568	0	80,568		
保険料	373,750	479,590	△105,840		

## 拠点区分事業活動計算書

(自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日)

(単位：円) 2頁

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
	賃借料	3,086,269	2,988,415	97,854	
	車輛費	893,010	907,177	△14,167	
	車輛燃料費	893,010	890,622	2,388	
	車輛修繕費	0	16,555	△16,555	
	生産活動事業費	1,395,330	1,636,559	△241,229	
	利用者工賃	860,580	857,080	3,500	
	原材料費	312,021	561,596	△249,575	
	消耗器具備品費	11,019	46,797	△35,778	
	修繕費	18,040	0	18,040	
	通信運搬費	520	520	0	
	手数料	125,150	113,555	11,595	
	租税公課	68,000	57,011	10,989	
	事務費	12,029,261	11,075,857	953,404	
	福利厚生費	233,453	224,376	9,077	
	健康診断費	125,053	118,476	6,577	
	民間共済会掛金	32,220	37,650	△5,430	
	その他福利厚生費	76,180	68,250	7,930	
	旅費交通費	9,740	8,650	1,090	
	会議等旅費	9,740	8,650	1,090	
	研修研究費	158,838	164,347	△5,509	
	研修旅費	6,280	8,900	△2,620	
	研修負担金等	152,558	155,447	△2,889	
	事務消耗品費	94,231	140,848	△46,617	
	事務消耗品費	94,231	140,848	△46,617	
	印刷製本費	273,434	210,775	62,659	
	印刷製本費	273,434	210,775	62,659	
	修繕費	349,140	100,760	248,380	
	通信運搬費	313,766	292,176	21,590	
	会議費	3,806	4,147	△341	
	会議費	3,806	4,147	△341	
	広報費	0	162,800	△162,800	
	広報費	0	162,800	△162,800	
	業務委託費	8,203,992	7,174,148	1,029,844	
	業務委託費	8,203,992	7,174,148	1,029,844	
	手数料	322,409	329,176	△6,767	
	手数料	322,409	329,176	△6,767	
	土地・建物賃借料	1,200,000	1,131,980	68,020	
	租税公課	30,100	54,880	△24,780	
	保守料	659,670	918,544	△258,874	
	渉外費	34,832	18,200	16,632	
	渉外費	34,832	18,200	16,632	
	諸会費	141,850	140,050	1,800	
	就労支援事業費用	3,927,205	3,375,003	552,202	
	就労支援事業販売原価	3,927,205	3,375,003	552,202	
	就労支援事業費	3,927,205	3,375,003	552,202	
	サービス活動費用計(2)	103,536,087	92,529,508	11,006,579	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△3,144,873	6,837,613	△9,982,486	
サ ー ビ ス	取				
	益	受取利息配当金収益	180	238	△58
		その他のサービス活動外収益	653,631	675,195	△21,564
		受入研修費収益	182,000	60,000	122,000
	利用者等外給食収益	284,760	453,600	△168,840	



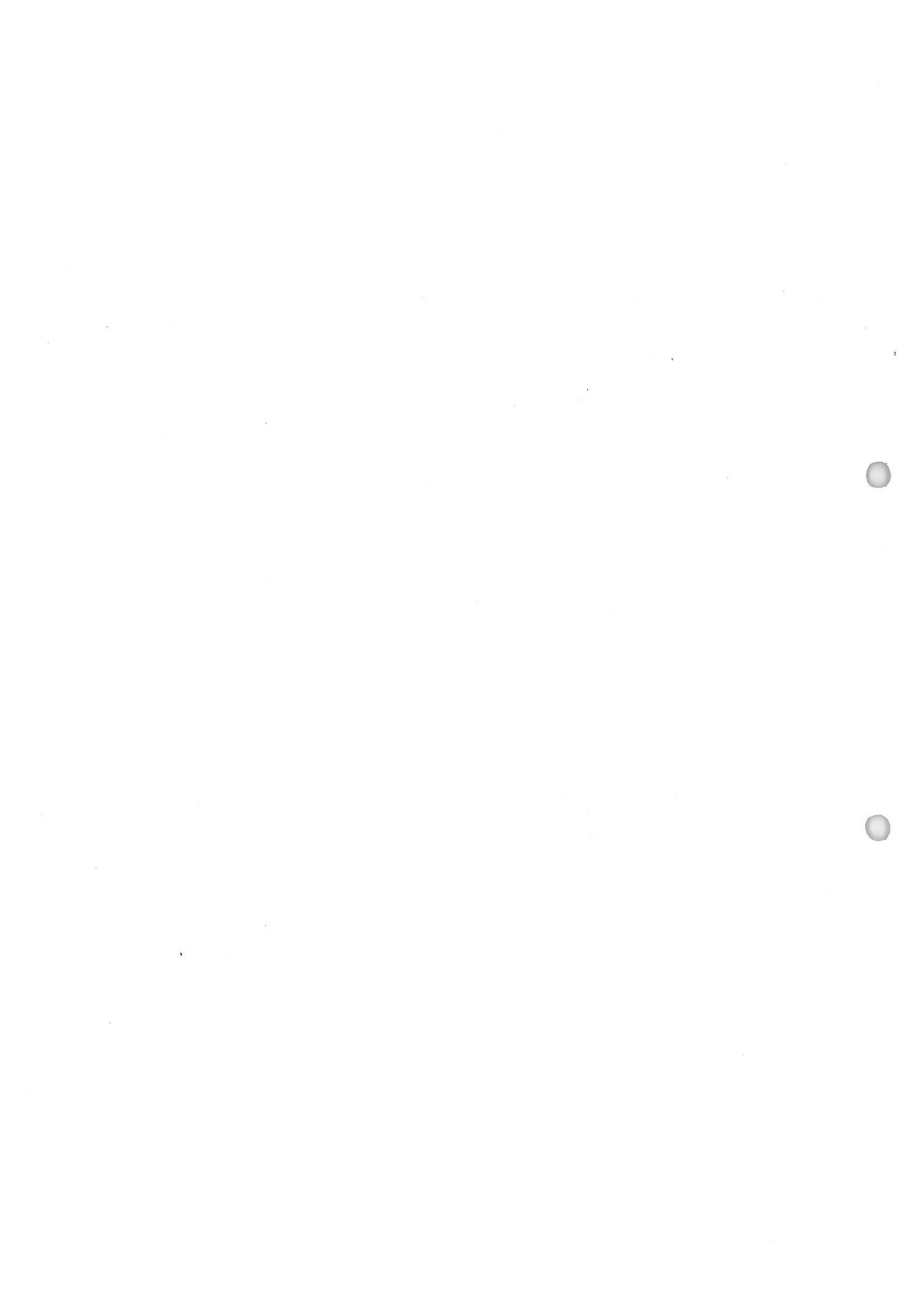
## 拠点区分事業活動計算書

( 自 令和 4年 4月 1日 至 令和 5年 3月31日 )

(単位：円) 3頁

		勘定科目	当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A)-(B)
活動外増減の部		雑収益	186,871	161,595	25,276
		サービス活動外収益計(4)	653,811	675,433	△21,622
	費用	その他のサービス活動外費用	135,347	267,653	△132,306
		利用者等外給食費	135,261	215,460	△80,199
		雑損失	86	52,193	△52,107
		サービス活動外費用計(5)	135,347	267,653	△132,306
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	518,464	407,780	110,684	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△2,626,409	7,245,393	△9,871,802	
特別増減の部	収益				
		特別収益計(8)	0	0	0
	費用	拠点区分間繰入金費用	7,353,686	11,772,281	△4,418,595
		特別費用計(9)	7,353,686	11,772,281	△4,418,595
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△7,353,686	△11,772,281	4,418,595
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△9,980,095	△4,526,888	△5,453,207	
繰越		前期繰越活動増減差額(12)	△10,265,730	△5,738,840	△4,526,890
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△20,245,825	△10,265,728	△9,980,097
活動増減差額の部		基本金取崩額(14)	0	0	0
		その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
		その他の積立金取崩額	0	0	0
		その他の積立金積立額(16)	2	2	0
		その他の積立金積立額	2	2	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	△20,245,827	△10,265,730	△9,980,097	





# 拠点区分貸借対照表

( 令和 5年 3月31日現在 )

(単位：円)

1頁

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	36,562,732	37,232,045	△669,313	流動負債	38,961,632	39,496,445	△534,813
現金預金	17,975,592	19,876,505	△1,900,913	事業未払金	36,376,934	37,048,635	△671,701
事業未収金	18,397,940	16,993,444	1,404,496	その他の未払金	798	19,950	△19,152
未収金	1,680	42,000	△40,320	仮受金	185,000	163,460	21,540
未収補助金	81,000	153,976	△72,976	賞与引当金	2,398,900	2,264,400	134,500
立替金	3,920	5,390	△1,470				
前払費用	102,600	160,730	△58,130	固定負債	24,433,662	18,118,935	6,314,727
固定資産	6,952,244	10,483,112	△3,530,868	拠点区分間長期借入金	17,846,932	8,003,935	9,842,997
その他の固定資産	6,952,244	10,483,112	△3,530,868	退職給付引当金	6,586,730	10,115,000	△3,528,270
器具及び備品	5	5	0	負債の部合計	63,395,294	57,615,380	5,779,914
退職給付引当資産	6,586,730	10,115,000	△3,528,270				
生産活動等工賃変動積立資産	365,509	365,507	2	純資産の部			
長期前払費用	0	2,600	△2,600	その他の積立金	365,509	365,507	2
資産の部合計	43,514,976	47,715,157	△4,200,181	生産活動等工賃変動積立金	365,509	365,507	2
				次期繰越活動増減差額	△20,245,827	△10,265,730	△9,980,097
				(うち当期活動増減差額)	△9,980,095	△4,526,888	△5,453,207
				純資産の部合計	△19,880,318	△9,900,223	△9,980,095
				負債及び純資産の部合計	43,514,976	47,715,157	△4,200,181

